

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第2回目 9月10日 10:00～10:15

康保会乳児保育所

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

音

〈テーマの設定理由〉

- ・音にどんな反応を見せるか
- ・楽器や身近にある物の音を聞かせて反応を見る

## 2. 活動スケジュール

- ・令和6年9月10日 10:00～ 0歳児:5名
- ・保育者が楽器や廃材で音を鳴らして子どもの反応を見る(前回との違いがあるのか)
- ・子どもも楽器に触れて音を鳴らす

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・こりす組 ベッドルームにてスペースをつくる
- ・床にジョイントマットを敷く
- ・用意したもの…太鼓・トライアングル・鈴・ミルク缶・ハモンドジュニア・スティック棒  
アルミボール・マラカス

## 4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・保育者が太鼓・アルミボール・鈴・シンバル・トライアングル・ミルク缶を鳴らして反応を見る
- ・上記の楽器や廃材に子どもも触れたり、音を鳴らしたりする
- ・ハモンドジュニアで様々な効果音を鳴らして反応を見る

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり〉

保育者が音を鳴らす…音が鳴った方へ視線を向け、じっとみつめる。機嫌が悪くグズっていた子ども  
音に反応して泣き止む。音が終わると再び機嫌が悪くなる。

ハモンドジュニアを鳴らす…鳴らしている保育者には視線が行くが、音にはほとんど反応しない。

子どもが楽器等に触れる…保育者が手でタンバリンや太鼓を叩くと、真似して手で叩く。  
スティックや鈴を近付けると手を伸ばして握ろうとしたり、握ると上下に  
振っていた。音を鳴らすというよりは握って振る事により音が鳴る感じ。

〈活動中の様子〉



5. 振り返り

〈振り返りによって得た保育士の気づき〉

- ・今回もハモンドジュニアで雷の音や海のさざ波の音、動物など様々な効果音を鳴らしてみるが、楽器を鳴らした時に見せる反応は無く、鳴らしている保育者に注目しているだけだった。外線電話の音や、AEDをケースから出した時の音も鳴ったが、機械音には殆ど反応しなかった。
- ・低月齢児だったので、楽器自体には興味を示し、手を伸ばして触ろうとしたり、口元に運ぼうとしていた。鳴らし方を見せると真似して鳴らす子もいた。また、太鼓等の低い音よりは、銀ボールやミルク缶をスティックで叩いた時の音(高音)の方が反応速度が早かった。
- ・機械音に殆ど反応しない事に驚き、普段の保育中(特に午睡時間中)に外線電話の音等にあまり影響無く過ごせる理由にも繋がるのかなと感じた。
- ・次回は、0歳児・1歳児を対象に、音のテンポによってどのような反応があるか、音の高低差に寄る反応に違いがあるかを見ていく。